

アンケート調査結果（抜粋）

(1) 調査の概要

第4期門真市地域福祉計画の策定にあたり、市民の福祉に関する考え方や地域活動への参加状況、地域課題などの現状を把握するため、市民意識調査として「これからの地域福祉のためのアンケート調査」を実施しました。

① 調査の実施について

調査対象者	16歳以上の市民 3,000人
実施方法	①郵送による配付・回収、礼状兼督促はがきを送付（郵送調査） ②市広報誌掲載のQRコードによるウェブアンケート調査（ウェブ調査）
実施期間	①令和2年12月23日（水）～令和3年1月15日（金） ②令和2年12月25日（金）～令和3年1月15日（金）

② 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
郵送調査	3,000	1,228	40.9%
ウェブ調査	—	12	—

※「n」は「number」の略で、比率算出の母数を示しています。

※複数回答の場合、図中に MA（＝いくつでも回答可）または 3 LA（＝3つまで回答可）と記載しています。

また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合があります。

③ アンケートの概要

合計質問数 45 問	
番号	質問の分類（カテゴリー）
1	あなたご自身のことについて（回答者の属性）
2	お住まいの地域について
3	地域で生活する上での課題について
4	判断能力が不十分な人の権利擁護について
5	地域福祉にかかわる活動について
6	地域活動への参加について
7	災害への備えについて
8	地域福祉の推進について

(2) 調査結果のまとめ

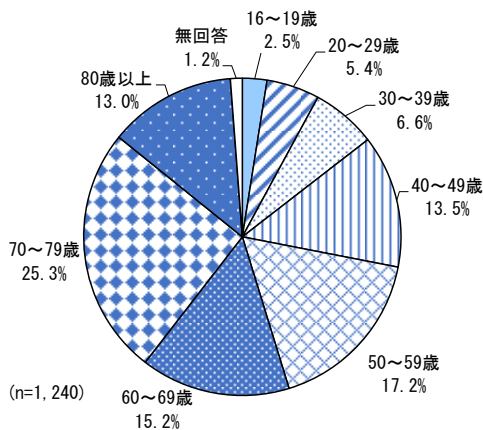
① あなたご自身のことについて (回答者の属性)

回答者全体の年齢別の割合をみると、60歳以上が5割以上と多くなっています。

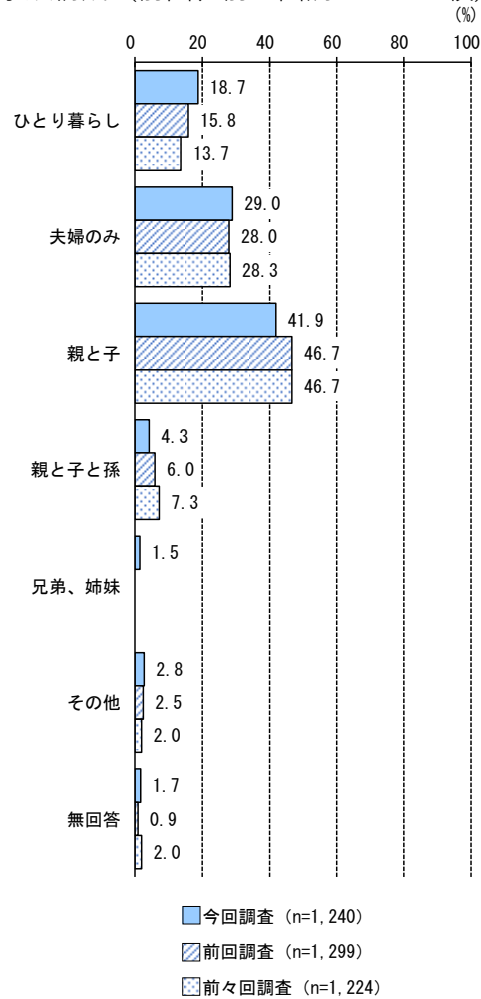
現在一緒に住んでいる家族構成について、「ひとり暮らし」が18.7%で、前回に比べ2.9ポイント、前々回に比べ5.0ポイント多くなっています。また、「親と子」は前回、前々回に比べ4.8ポイント少なくなっています。

80歳以上の方では「ひとり暮らし」が約3割と多くなっています。

◆ 年齢 (問2)



◆ 家族構成 (前回、前々回調査との比較) (問3)



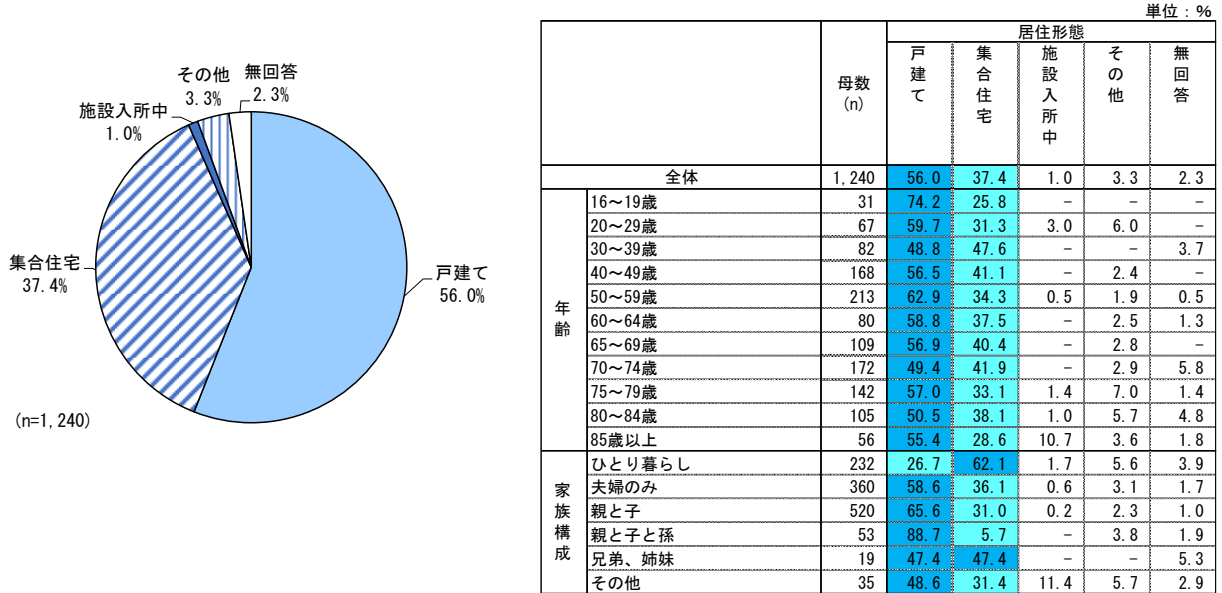
◆ 家族構成 (問3)

		母数 (n)	家族構成						
			ひとり暮らし	夫婦のみ	親と子	親と子と孫	兄弟、姉妹	その他	無回答
年齢	16~19歳	31	-	-	93.5	3.2	-	3.2	-
	20~29歳	67	14.9	3.0	73.1	7.5	-	1.5	-
	30~39歳	82	12.2	9.8	67.1	2.4	1.2	7.3	-
	40~49歳	168	10.1	13.7	67.3	4.8	0.6	3.0	0.6
	50~59歳	213	13.6	22.1	53.5	4.7	2.3	2.8	0.9
	60~64歳	80	18.8	41.3	28.8	6.3	1.3	2.5	1.3
	65~69歳	109	20.2	50.5	22.9	2.8	2.8	0.9	-
	70~74歳	172	25.6	41.3	22.7	2.9	3.5	3.5	0.6
	75~79歳	142	23.9	43.7	26.1	3.5	0.7	1.4	0.7
	80~84歳	105	32.4	42.9	18.1	4.8	-	-	1.9
85歳以上	56	30.4	25.0	26.8	7.1	1.8	8.9	-	

居住形態をみると、戸建てが56.0%、集合住宅が37.4%となっています。

家族構成別の居住形態をみると、ひとり暮らしでは集合住宅が62.1%で、他の家族構成に比べ多くなっています。

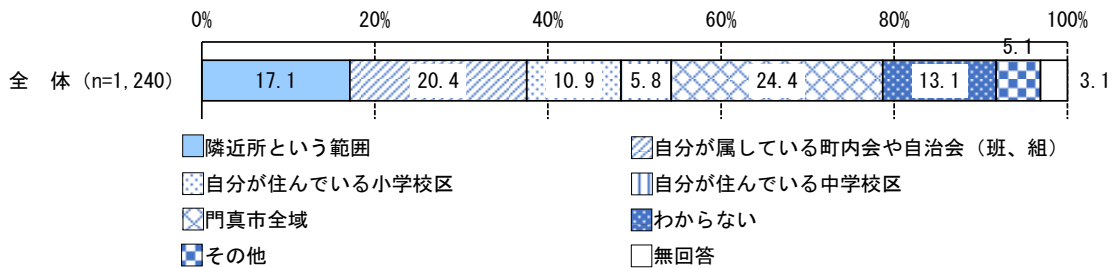
◆ 居住状況（問7）



② お住まいの地域について

生活上の地域について、全体としては、門真市全域が24.4%となっており、特に69歳以下では「門真市全域」が多くなっています。一方、70歳以上では「自分が属している町内会や自治会（班、組）」が多くなっています。

◆ 生活上の地域（問11）

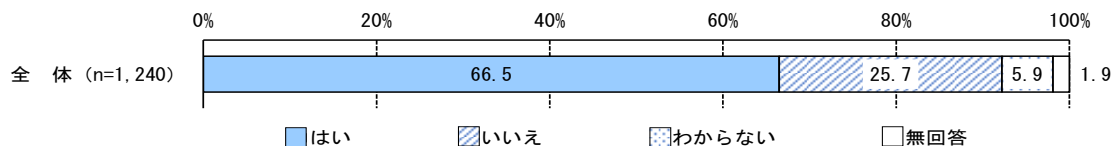


年齢	母数 (n)	生活上の地域							
		隣近所という範囲	自分が属している町内会や自治会 (班、組)	自分が住んでいる小学校区	自分が住んでいる中学校区	門真市全域	わからない	その他	無回答
16～19歳	31	16.1	16.1	3.2	19.4	19.4	16.1	6.5	3.2
20～29歳	67	11.9	7.5	17.9	11.9	26.9	14.9	9.0	-
30～39歳	82	9.8	7.3	15.9	4.9	35.4	13.4	9.8	3.7
40～49歳	168	14.9	13.1	14.9	8.3	25.6	14.3	7.7	1.2
50～59歳	213	15.0	15.0	12.7	8.0	29.1	15.5	3.3	1.4
60～64歳	80	12.5	25.0	10.0	7.5	26.3	13.8	3.8	1.3
65～69歳	109	11.9	23.9	10.1	7.3	24.8	16.5	3.7	1.8
70～74歳	172	19.2	27.9	9.9	0.6	22.1	11.6	5.2	3.5
75～79歳	142	20.4	28.2	7.0	3.5	23.2	8.5	4.9	4.2
80～84歳	105	28.6	29.5	6.7	2.9	14.3	11.4	1.0	5.7
85歳以上	56	28.6	32.1	7.1	-	8.9	8.9	5.4	8.9

自治会への入会状況については、66.5%が加入され高い割合となっていますが、年齢が若いほど自治会への加入が少なくなっています。

近所の人との付き合いの頻度については、全体としては「道であったときに会話をする程度の親しい人がいる」割合が 38.1%と最も多いですが、年齢が若いほど近所の人との付き合いも少ない傾向がみられます。

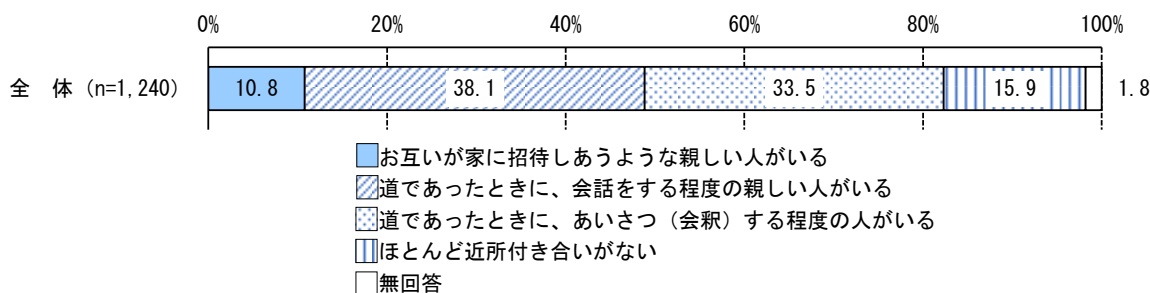
◆ 自治会の入会状況 (問 12)



単位: %

年齢	母数 (n)	自治会の入会状況			
		はい	いいえ	わからない	無回答
16~19歳	31	51.6	32.3	16.1	-
20~29歳	67	35.8	46.3	17.9	-
30~39歳	82	52.4	31.7	13.4	2.4
40~49歳	168	62.5	29.8	7.7	-
50~59歳	213	65.7	25.4	7.0	1.9
60~64歳	80	61.3	33.8	2.5	2.5
65~69歳	109	72.5	25.7	0.9	0.9
70~74歳	172	73.3	22.1	1.7	2.9
75~79歳	142	78.2	19.7	2.1	-
80~84歳	105	78.1	15.2	3.8	2.9
85歳以上	56	76.8	12.5	5.4	5.4

◆ 近所の人との付き合いの頻度 (問 13)



単位: %

年齢	母数 (n)	近所の人との付き合いの程度					無回答
		が あ い う よ う な 家 に 親 し い 人 が い る	お 互 い が あ い あ い の よ う な 家 に 親 し い 人 が い る	し 話 を す る 程 度 の 人 が い る	道 で あ っ た と き に あ い さ つ (会 釈) す る 程 度 の 人 が い る	あ い さ つ (会 釈) す る 程 度 の 人 が い る	
16~19歳	31	-	22.6	54.8	19.4	3.2	
20~29歳	67	6.0	14.9	43.3	35.8	-	
30~39歳	82	8.5	24.4	37.8	25.6	3.7	
40~49歳	168	5.4	26.2	44.6	23.8	-	
50~59歳	213	11.3	36.6	33.8	17.8	0.5	
60~64歳	80	5.0	52.5	30.0	12.5	-	
65~69歳	109	9.2	44.0	33.0	13.8	-	
70~74歳	172	15.7	40.7	32.0	8.7	2.9	
75~79歳	142	19.0	49.3	23.9	7.0	0.7	
80~84歳	105	15.2	54.3	18.1	9.5	2.9	
85歳以上	56	7.1	42.9	32.1	10.7	7.1	

付き合っている理由については、30～49歳では「同じ年代の子どもがいるから」近所付き合いのある方も多く、子どもを通じた近所付き合いの多いことが分かります。

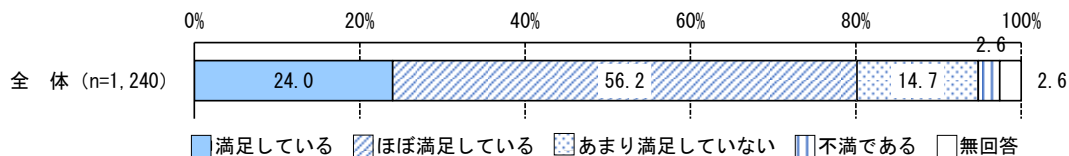
◆ 付き合っている理由（問13-①）

単位：%

		付き合っている理由(MA)							
		昔からの付き合いがあるから	同じ年代の子どもがいるから	共通の話題があるから	多段から顔を合わせる機会が多いから	いざというときに助け合えるように	その他	無回答	
年齢	16～19歳	24	37.5	12.5	8.3	50.0	4.2	12.5	12.5
	20～29歳	43	44.2	16.3	9.3	51.2	11.6	7.0	-
	30～39歳	58	22.4	25.9	1.7	55.2	17.2	10.3	-
	40～49歳	128	19.5	31.3	3.9	60.9	17.2	7.8	1.6
	50～59歳	174	42.0	24.1	11.5	53.4	17.2	7.5	1.7
	60～64歳	70	35.7	20.0	5.7	70.0	11.4	4.3	1.4
	65～69歳	94	36.2	13.8	5.3	63.8	12.8	5.3	3.2
	70～74歳	152	38.2	7.9	11.2	56.6	23.0	4.6	6.6
	75～79歳	131	37.4	7.6	9.2	62.6	16.8	6.1	3.1
	80～84歳	92	28.3	5.4	3.3	55.4	22.8	4.3	9.8
85歳以上	46	43.5	4.3	8.7	58.7	10.9	2.2	8.7	

近所との付き合いの満足度については、「満足している」「ほぼ満足している」が8割以上と多く、近所付き合いが多いほど「現在のご近所との付き合いに満足している」方が多く、少ないほど「あまり満足していない」「不満である」方が多くなっています。また、近所付き合いが多い方ほど問23「ご近所の方に対して手助けできること」において「できる」が多い傾向がみられます。

◆ 近所との付き合いの満足度（問14）



単位：%

	母数 (n)	近所との付き合いの満足度				
		満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	不満である	無回答
近所付き合いの程度						
家に招待しあうような親しい人がいる	134	41.0	52.2	4.5	0.7	1.5
道で会ったときに会話をする程度の親しい人がいる	472	24.4	64.0	8.9	1.3	1.5
道であったときにあいさつ（会釈）する程度の人がいる	415	17.8	59.0	18.8	2.2	2.2
ほとんど近所付き合いがない	197	23.9	35.5	27.9	8.1	4.6

◆ 近所付き合いの程度と「手助けできる」の割合（問13×問23「手助けできる」）

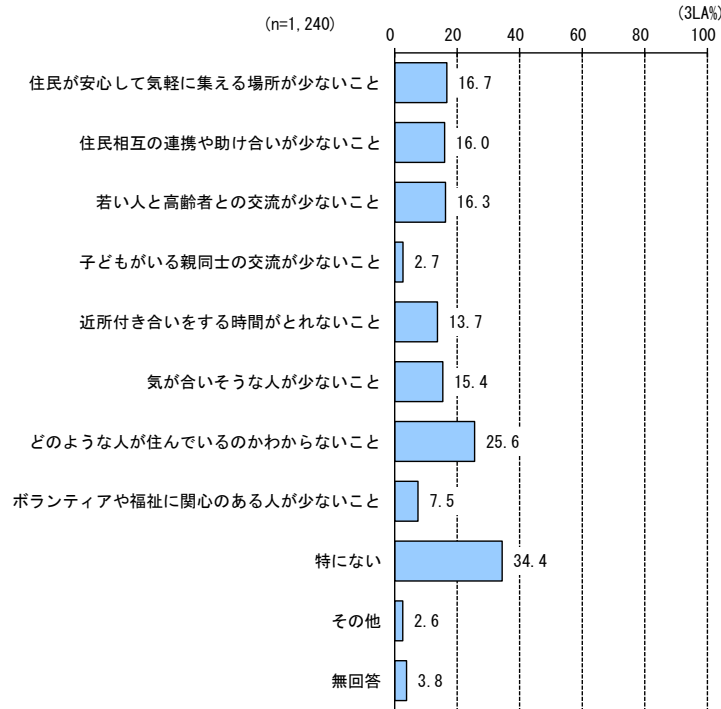
単位：%

	母数 (n)	相①	外②	の③	び④	の⑤	や⑥	ど⑦	障⑧	水⑨	庭⑩	車⑪
		手話し相手や、相談事の	出買の同行や近くまでの	受け取り物や紙の代行や簡単な	子どもの預かりや外遊	のお年寄りの見守りなど	ひとり暮らしのお年寄り	家の人が留守のとき	玄関前の掃除や植木	家の人が留守のとき	草刈りなど	家の修繕や家具
全体	1,240	49.8	35.0	44.6	17.7	21.0	9.2	48.8	21.1	69.9		
近所付き合いの程度												
家に招待しあうような親しい人がいる	134	73.1	48.5	59.0	17.9	26.9	11.9	64.9	27.6	73.1		
道で会ったときに会話をする程度の親しい人がいる	472	56.4	38.3	47.7	17.2	20.8	8.1	55.1	21.6	71.6		
道であったときにあいさつ（会釈）する程度の人がいる	415	43.6	32.3	44.3	19.0	20.7	7.5	46.3	20.7	75.2		
ほとんど近所付き合いがない	197	32.0	24.4	28.9	16.2	18.8	13.7	29.4	16.8	55.3		

地域住民の交流で気になっていることでは、「どのような人が住んでいるのかわからないこと」が25.6%で、「特にない」を除くと最も多くなっています。また、居住形態別でみると、「どのような人が住んでいるのかわからないこと」は戸建てでは18.7%ですが、集合住宅では37.3%と多くなっています。

65歳以上では「若い人と高齢者との交流が少ないこと」「住民が安心して気軽に集える場所が少ないこと」が多く、一方64歳以下では「どのような人が住んでいるのかわからないこと」が多くなっています。

◆ 地域住民の交流で気になっていること (問 15)



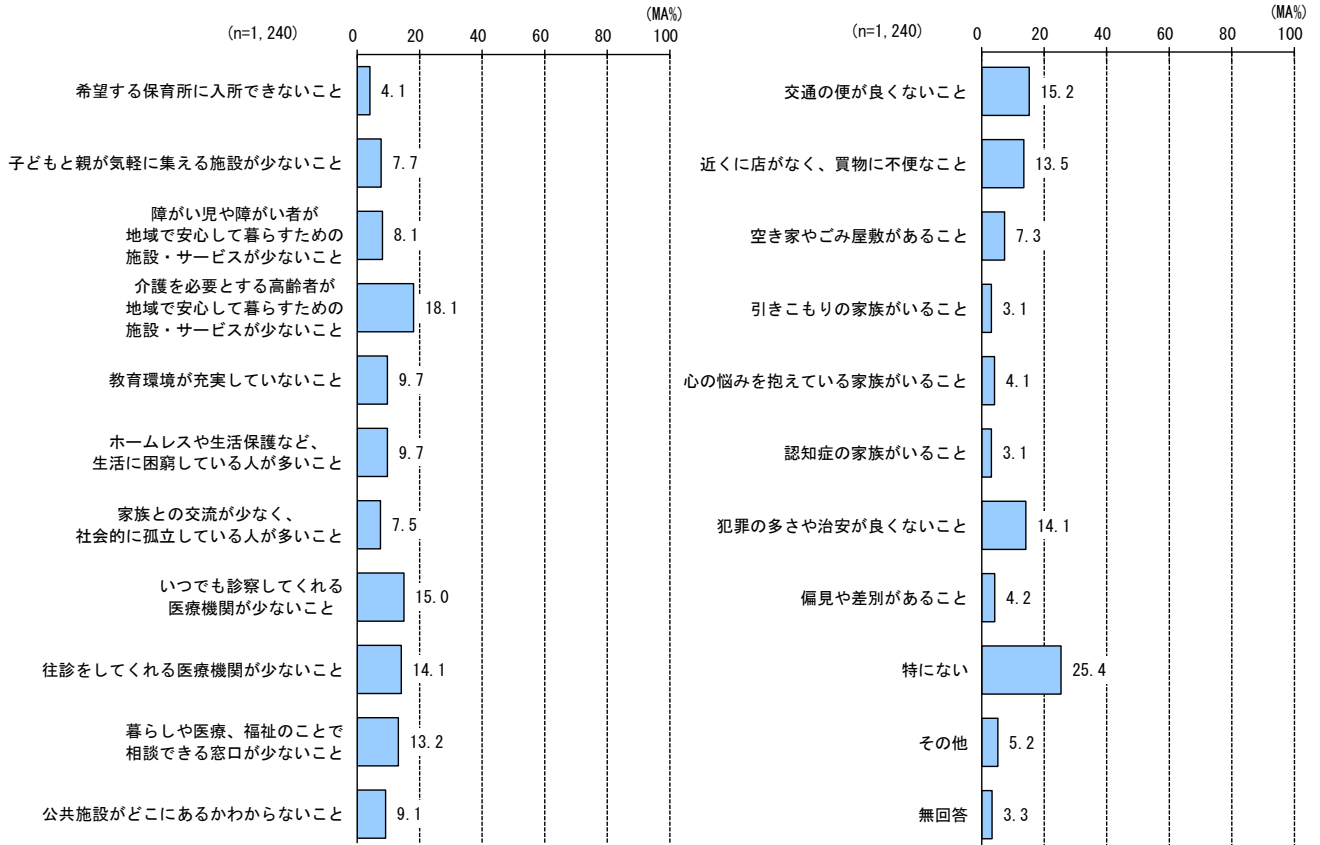
単位：%

	母数 (n)	地域住民の交流で気になっていること (3LA)											
		場 所 が 安 心 し て 気 軽 に 集 え る	住 民 相 互 の 連 携 や 助 け 合 い が 少 な い こ と	若 い 人 と 高 齢 者 と の 交 流 が 少 な い こ と	交 流 が 少 な い こ と	子 ど も が い る 親 同 士 の 交 流 が 少 な い こ と	時 間 が と れ な い こ と	少 気 な い こ と	わ か ら な い こ と	関 心 の あ る 人 が 少 な い こ と	特 に な い	そ の 他	無 回 答
年 齢	16～19歳	31	6.5	-	6.5	-	6.5	3.2	19.4	9.7	61.3	-	-
	20～29歳	67	9.0	10.4	10.4	7.5	9.0	7.5	23.9	3.0	52.2	-	1.5
	30～39歳	82	8.5	13.4	9.8	9.8	18.3	9.8	39.0	7.3	40.2	1.2	2.4
	40～49歳	168	11.9	10.1	8.3	6.0	19.0	11.9	33.3	3.0	38.1	2.4	0.6
	50～59歳	213	18.3	16.0	12.2	1.9	20.7	11.7	28.6	7.5	34.7	3.3	1.4
	60～64歳	80	17.5	23.8	13.8	1.3	13.8	8.8	31.3	3.8	36.3	3.8	1.3
	65～69歳	109	15.6	16.5	23.9	1.8	9.2	15.6	22.0	8.3	41.3	2.8	0.9
	70～74歳	172	20.3	19.2	19.2	1.2	12.8	26.7	24.4	6.4	26.7	1.7	2.3
	75～79歳	142	21.1	20.4	26.8	0.7	7.0	19.7	19.0	16.2	26.8	1.4	7.0
	80～84歳	105	21.0	17.1	14.3	-	8.6	17.1	14.3	8.6	32.4	2.9	15.2
85歳以上	56	21.4	23.2	33.9	-	14.3	17.9	17.9	8.9	16.1	8.9	8.9	
居 住 形 態	戸建て	694	17.6	15.7	17.6	2.6	14.4	14.4	18.7	8.6	38.2	3.0	3.0
	集合住宅	464	16.4	16.4	14.0	2.8	13.6	15.9	37.3	5.6	31.7	1.3	1.9
	施設入所中	12	25.0	16.7	25.0	-	8.3	16.7	8.3	-	8.3	8.3	33.3
	その他	41	4.9	17.1	17.1	2.4	12.2	19.5	26.8	12.2	26.8	4.9	9.8

③ 地域で生活する上での課題について

地域で生活する上での課題について、「特にない」を除いて、「介護を必要とする高齢者が地域で安心して暮らすための施設・サービスが少ないこと」が 18.1%で最も多く、続いて「交通の便が良くないこと」が 15.2%、「いつでも診察してくれる医療機関が少ないこと」が 15.0%となっています。その他には「空き家やごみ屋敷があること」が 7.3%、「引きこもりの家族がいること」が 3.1%と様々な課題があることがわかります。

◆ 住んでいる地域で生活する上での課題（問 17）



家族状況別にみると、65歳以上の方のいる家族や介護を必要とする方のいる家族では、介護を必要とするための施設・サービスが少ないと感じる人が多く、乳幼児のいる家族では、子どもと親が気軽に集える施設が少ないと感じる人が多くなっています。乳幼児～中学生のいる家族では、犯罪の多さや治安を不安に感じている方が比較的多くなっています。

単位：%

家族状況	母数 (n)	住んでいる地域で生活する上での課題 (MA)																				
		い こ と	希 望 す る 保 育 所 に 入 所 で き な い こ と	設 け が 少 な い こ と	子 ど も と 親 が 気 軽 に 集 え る 施 設 が 少 な い こ と	サ ー ビ ス が 少 な い こ と	障 が い い 親 や 障 が い い 子 ど も が 居 る 地 域 で サ ー ビ ス が 少 な い こ と	設 け が 少 な い こ と	介 護 を 必 要 と す る 高 齢 者 が 居 る 地 域 で サ ー ビ ス が 少 な い こ と	と 教 育 環 境 が 充 実 し て い な い こ と	こ と	ホ ー ム レ ス や 生 活 保 護 な ど 、 こ と	と 的 に 孤 立 し て い る 人 が 多 い こ と	機 関 が 少 な い こ と	い つ で も 診 察 し て く れ る 医 療 機 関 が 少 な い こ と	往 診 を し て く れ る 医 療 機 関 が 少 な い こ と	相 談 し や 医 療 、 福 祉 の こ と で 相 談 し て く れ る 窓 口 が 少 な い こ と	暮 ら し や 医 療 、 福 祉 の こ と で 相 談 し て く れ る 窓 口 が 少 な い こ と	公 共 施 設 が ど こ に あ る か わ か ら な い こ と			
乳幼児	57	17.5	36.8	12.3	7.0	17.5	12.3	7.0	12.3	5.3	1.8	5.3	17.5	12.3	5.3	1.8	5.3	17.5	12.3	5.3	1.8	5.3
小学生	75	12.0	20.0	14.7	9.3	21.3	12.0	5.3	17.3	9.3	6.7	6.7	12.0	17.3	9.3	6.7	6.7	12.0	17.3	9.3	6.7	6.7
中学生	70	12.9	24.3	11.4	5.7	21.4	15.7	2.9	15.7	11.4	5.7	4.3	12.9	15.7	11.4	5.7	4.3	12.9	15.7	11.4	5.7	4.3
高校生	89	5.6	16.9	10.1	6.7	18.0	6.7	3.4	13.5	6.7	6.7	6.7	5.6	13.5	6.7	6.7	6.7	5.6	13.5	6.7	6.7	6.7
65歳以上の方	443	1.6	6.3	8.6	24.6	6.5	7.7	7.7	17.6	18.7	16.0	9.5	1.6	17.6	18.7	16.0	9.5	1.6	17.6	18.7	16.0	9.5
介護を必要とする方	89	1.1	7.9	21.3	49.4	5.6	9.0	9.0	22.5	23.6	22.5	6.7	1.1	22.5	23.6	22.5	6.7	1.1	22.5	23.6	22.5	6.7
障がいのある方	129	0.8	2.3	29.5	22.5	6.2	7.8	4.7	19.4	23.3	19.4	10.9	0.8	19.4	23.3	19.4	10.9	0.8	19.4	23.3	19.4	10.9
いずれもない	402	4.0	5.0	4.0	13.9	10.7	10.7	7.5	14.2	11.4	13.2	9.5	4.0	14.2	11.4	13.2	9.5	4.0	14.2	11.4	13.2	9.5

単位：%

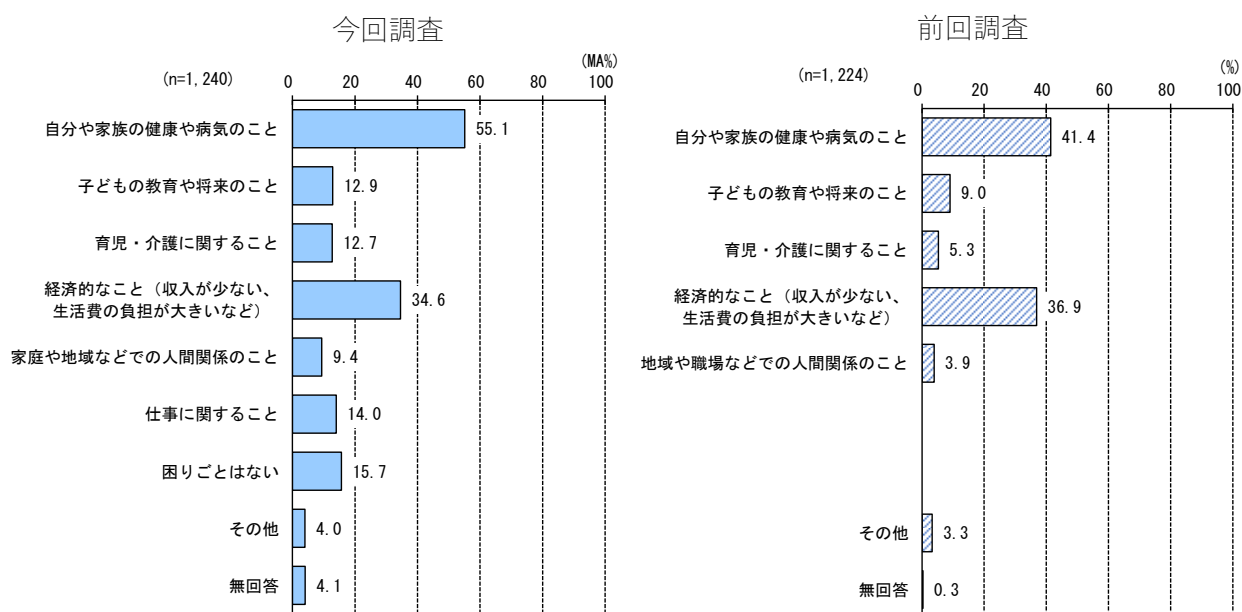
家族状況	母数 (n)	住んでいる地域で生活する上での課題 (MA)										
		交 通 の 便 が 良 く な い こ と	な 近 く に 店 が な く 、 買 物 に 不 便 な こ と	空 き 家 や ご み 屋 敷 が あ る こ と	引 き こ も り の 家 族 が い る こ と	心 の 悩 み を 抱 え て い る 家 族 が い る こ と	認 知 症 の 家 族 が い る こ と	こ と	犯 罪 の 多 さ や 治 安 が 良 く な い こ と	偏 見 や 差 別 が あ る こ と	特 に な い	そ の 他
乳幼児	57	14.0	12.3	12.3	3.5	3.5	1.8	31.6	5.3	15.8	8.8	-
小学生	75	13.3	14.7	12.0	2.7	4.0	2.7	26.7	9.3	20.0	5.3	1.3
中学生	70	7.1	14.3	5.7	1.4	2.9	1.4	25.7	8.6	21.4	8.6	-
高校生	89	12.4	18.0	11.2	-	5.6	-	20.2	7.9	21.3	7.9	1.1
65歳以上の方	443	16.0	14.4	8.4	3.2	2.9	2.9	8.4	4.1	24.4	5.4	1.8
介護を必要とする方	89	18.0	20.2	6.7	4.5	9.0	11.2	5.6	5.6	13.5	2.2	4.5
障がいのある方	129	17.1	12.4	10.1	3.1	7.8	3.1	7.8	4.7	14.0	4.7	5.4
いずれもない	402	15.7	11.7	5.0	2.7	3.7	3.5	14.9	3.0	31.3	5.7	2.5

日ごろの生活での何らかの悩みや不安については、「自分や家族の健康や病気のこと」が55.1%で最も多く、次いで「経済的なこと（収入が少ない、生活費の負担が大きいなど）」が34.6%となっています。

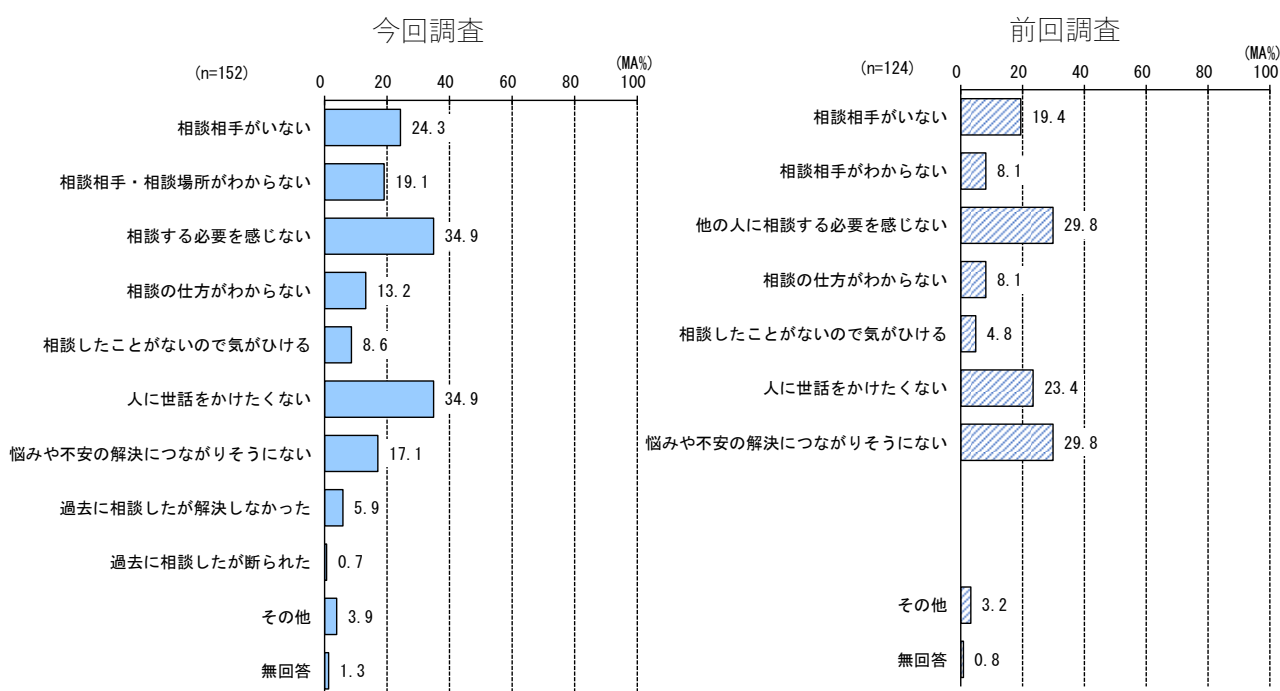
今回調査は複数回答、前回調査は単数回答であるため単純比較は難しいものの、「自分や家族の健康や病気のこと」は前回調査に比べ13.7ポイント多くなっています。

悩みや不安をだれにも相談はしていない理由は、「相談するのを感じない」「人に世話をかけたくない」が多くなっています。また、約2割が「相談相手がない」「相談相手・相談場所がわからない」と回答しています。

◆ 日ごろの生活での悩みや不安（問18）（前回調査との比較）

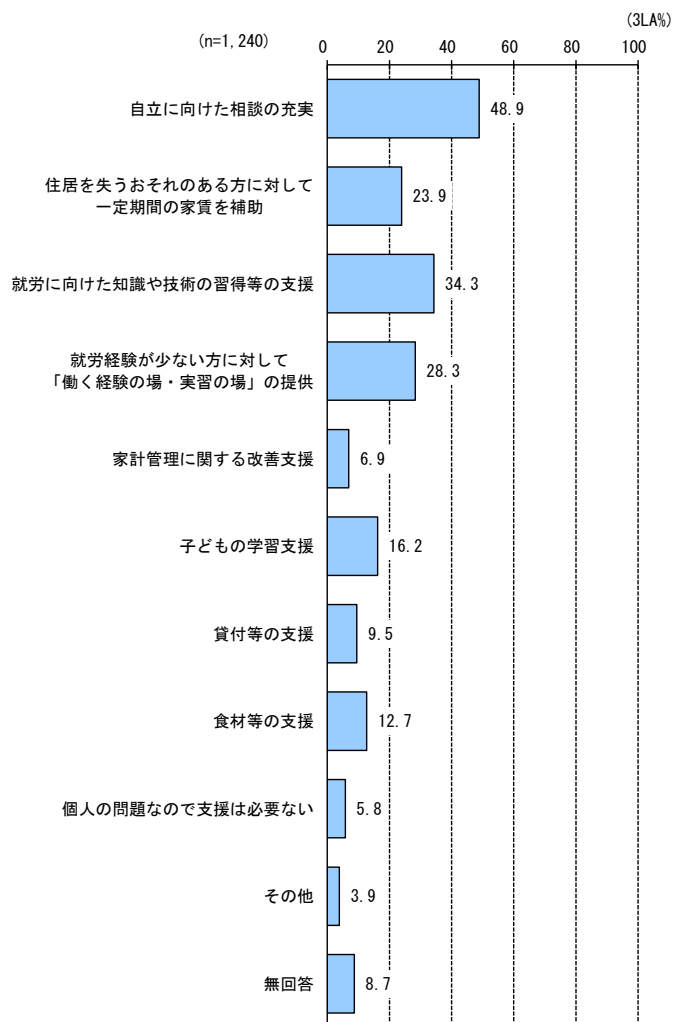


◆ だれにも相談していない理由（問19-①）（前回調査との比較）



仕事や生活に困っている方に対してあれば良い支援について、「自立に向けた相談の充実」が48.9%や「就労に向けた知識や技術の習得等の支援」が34.3%と多くなっていますが、家族状況でみると乳幼児～中学生のいる家族では、約5割が「子どもの学習支援」と回答しています。

◆ 仕事や生活に困っている方に対してあれば良い支援（問21）



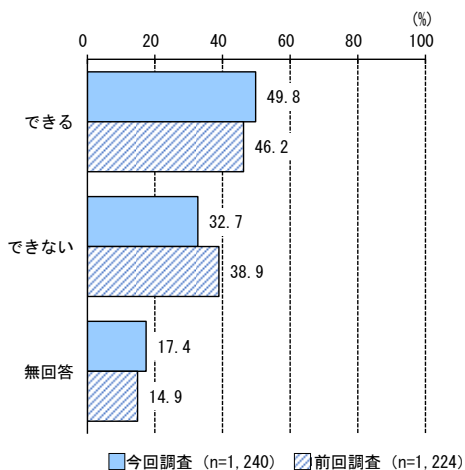
単位：%

		仕事や生活に困っている方に対してあれば良い支援(3LA)											
		母数 (n)	自立に向けた相談の充実	一住居を失うおそれのある方に対して一定期間の家賃を補助	就労に向けた知識や技術の習得等の支援	就労経験が少ない方に対して「働く経験の場・実習の場」の提供	家計管理に関する改善支援	子どもの学習支援	貸付等の支援	食材等の支援	個人の問題なので支援は必要ない	その他	無回答
家族状況	乳幼児	57	47.4	26.3	40.4	21.1	10.5	52.6	14.0	15.8	3.5	3.5	-
	小学生	75	37.3	26.7	42.7	26.7	8.0	48.0	10.7	18.7	6.7	1.3	1.3
	中学生	70	51.4	17.1	38.6	21.4	4.3	45.7	5.7	14.3	4.3	4.3	-
	高校生	89	52.8	20.2	48.3	33.7	4.5	31.5	5.6	14.6	2.2	3.4	2.2
	65歳以上の方	443	54.4	23.9	36.3	31.4	7.9	12.0	9.0	11.1	5.4	3.4	7.0
	介護を必要とする方	89	47.2	30.3	36.0	24.7	7.9	13.5	3.4	16.9	4.5	3.4	13.5
	障がいのある方	129	49.6	20.2	38.0	26.4	9.3	8.5	7.0	13.2	7.0	4.7	12.4
	いずれもない	402	47.3	25.9	34.8	27.9	7.5	13.9	11.4	12.4	7.2	3.2	6.7

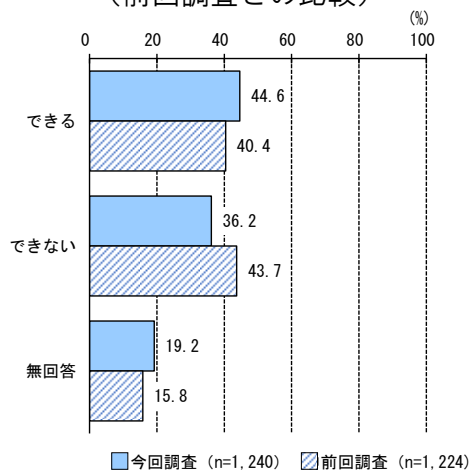
近所の方に対して手助けできることでは、全体的に前回調査と比較して「手助けできる」割合が増えており、⑨「病気など緊急時に救急車を呼ぶなどの手助け」が約7割、①「話し相手や、相談事の相手」③「買い物の代行や簡単な用事（手紙の投函、荷物の受け取りなど）」⑦「玄関前の掃除や植木の水やり、ごみ出しなど」が約5割となっています。

◆ 近所の方に対して手助けできること（問23）

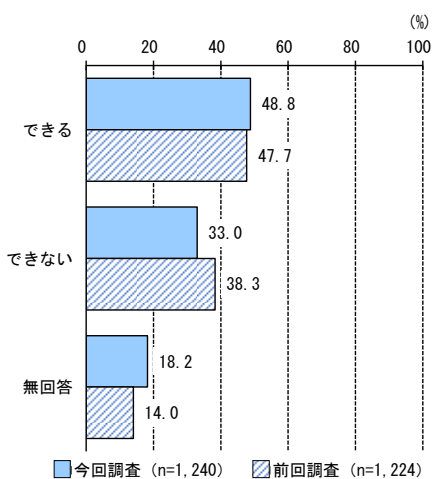
①話し相手や、相談事の相手
（前回調査との比較）



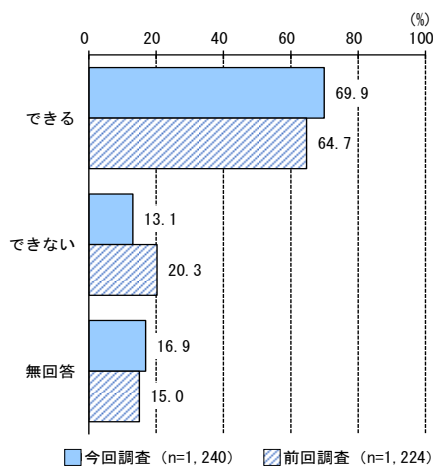
③買い物の代行や簡単な用事
（手紙の投函、荷物の受け取りなど）
（前回調査との比較）



⑦玄関前の掃除や植木の水やり、
ごみ出しなど（前回調査との比較）



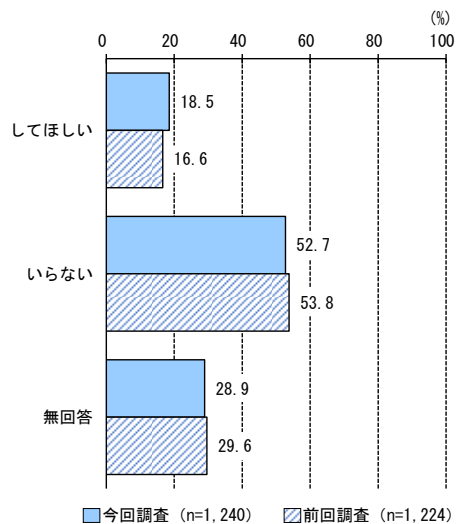
⑨病気など緊急時に救急車を
呼ぶなどの手助け
（前回調査との比較）



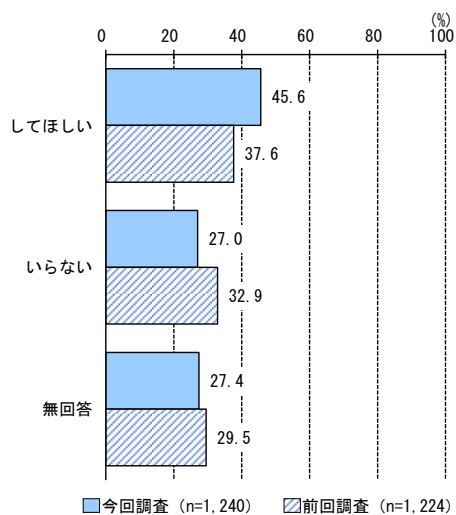
近所の方に手助けしてほしいことでは、⑨「病気など緊急時に救急車を呼ぶなどの手助け」が約5割、①「話し相手や、相談事の相手」が約2割となっています。

◆ 近所の方に手助けしてほしいこと（問23）

①話し相手や、相談事の相手
（前回調査との比較）



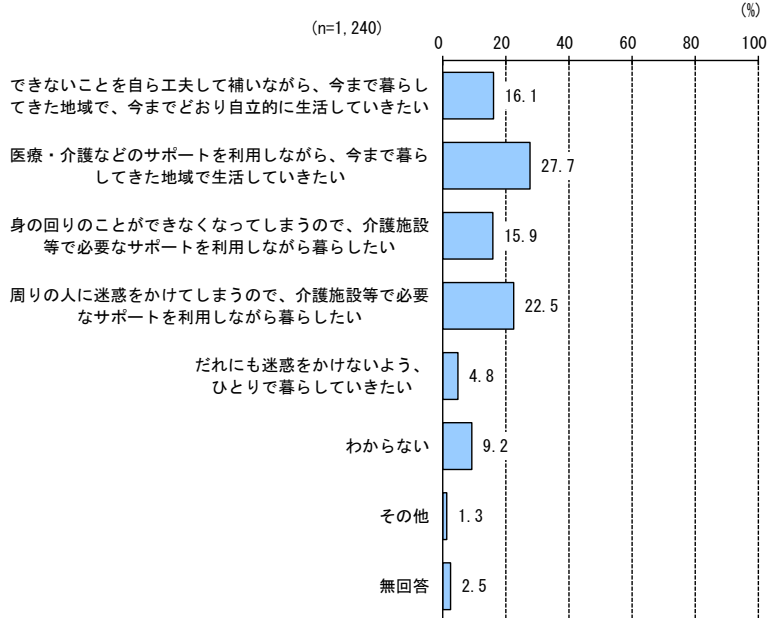
⑨病気など緊急時に救急車を呼ぶなどの手助け
（前回調査との比較）



④ 判断能力が不十分な人の権利擁護について

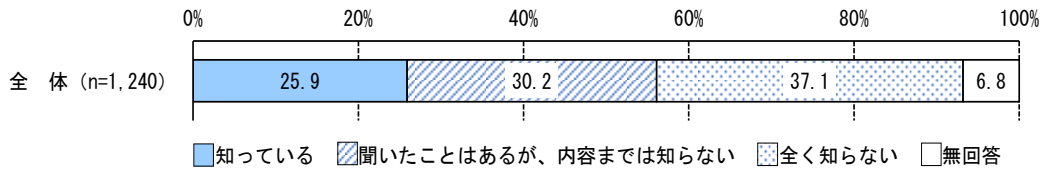
認知症や障がいにより判断能力が不十分な状態になったときの暮らし方について、「医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい」が27.7%となっています。

◆ 認知症や障がい状態になったときに希望する暮らしかた（問24）



成年後見制度の認知度は25.9%となっており、49歳以下と80歳以上では「全く知らない」が最も多く、50～79歳では「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が最も多くなっています。

◆ 成年後見制度の認知度（問25）

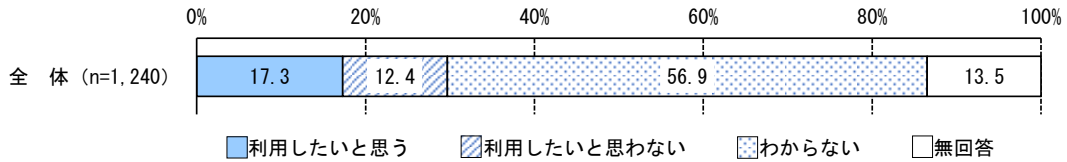


単位：%

年齢	母数 (n)	①成年後見制度			
		知っている	聞いたことはあるが、内容までは知らない	全く知らない	無回答
16～19歳	31	6.5	12.9	80.6	-
20～29歳	67	16.4	23.9	58.2	1.5
30～39歳	82	22.0	20.7	54.9	2.4
40～49歳	168	29.2	24.4	44.0	2.4
50～59歳	213	32.9	38.5	27.2	1.4
60～64歳	80	32.5	35.0	28.8	3.8
65～69歳	109	26.6	36.7	32.1	4.6
70～74歳	172	30.2	33.1	30.2	6.4
75～79歳	142	23.2	32.4	31.7	12.7
80～84歳	105	17.1	22.9	39.0	21.0
85歳以上	56	16.1	28.6	35.7	19.6

成年後見制度の利用意向では、「利用したいと思う」が17.3%、「利用したいと思わない」が12.4%、「わからない」が56.9%となっており、成年後見制度や日常生活自立支援制度についての普及啓発が求められています。また、年齢別でみると、全体的に「利用したいと思う」が「利用したいと思わない」よりも多くなっていますが、70歳～79歳までは「利用したいと思わない」が多くなっています。

◆ 成年後見制度の利用意向（問 26）

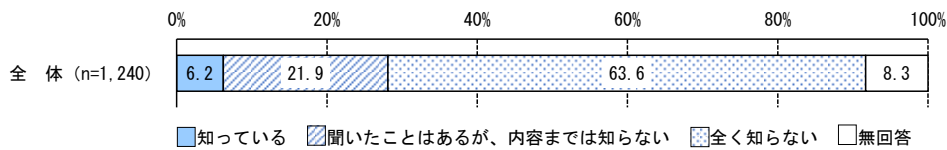


単位：%

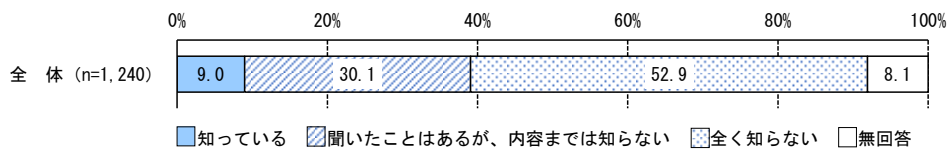
	母数 (n)	成年後見制度の利用意向				
		利用したいと思う	利用したいと思わない	わからない	無回答	
年齢	16～19歳	31	9.7	9.7	77.4	3.2
	20～29歳	67	29.9	6.0	56.7	7.5
	30～39歳	82	14.6	13.4	62.2	9.8
	40～49歳	168	22.0	10.1	53.6	14.3
	50～59歳	213	16.4	13.1	55.4	15.0
	60～64歳	80	18.8	11.3	58.8	11.3
	65～69歳	109	11.9	9.2	64.2	14.7
	70～74歳	172	16.9	18.0	52.9	12.2
	75～79歳	142	14.1	15.5	53.5	16.9
	80～84歳	105	16.2	13.3	61.0	9.5
	85歳以上	56	17.9	8.9	53.6	19.6

市民後見人および日常生活自立支援制度の認知度は1割以下で、成年後見制度よりも少なくなっています。

◆ 市民後見人の認知度（問 25）



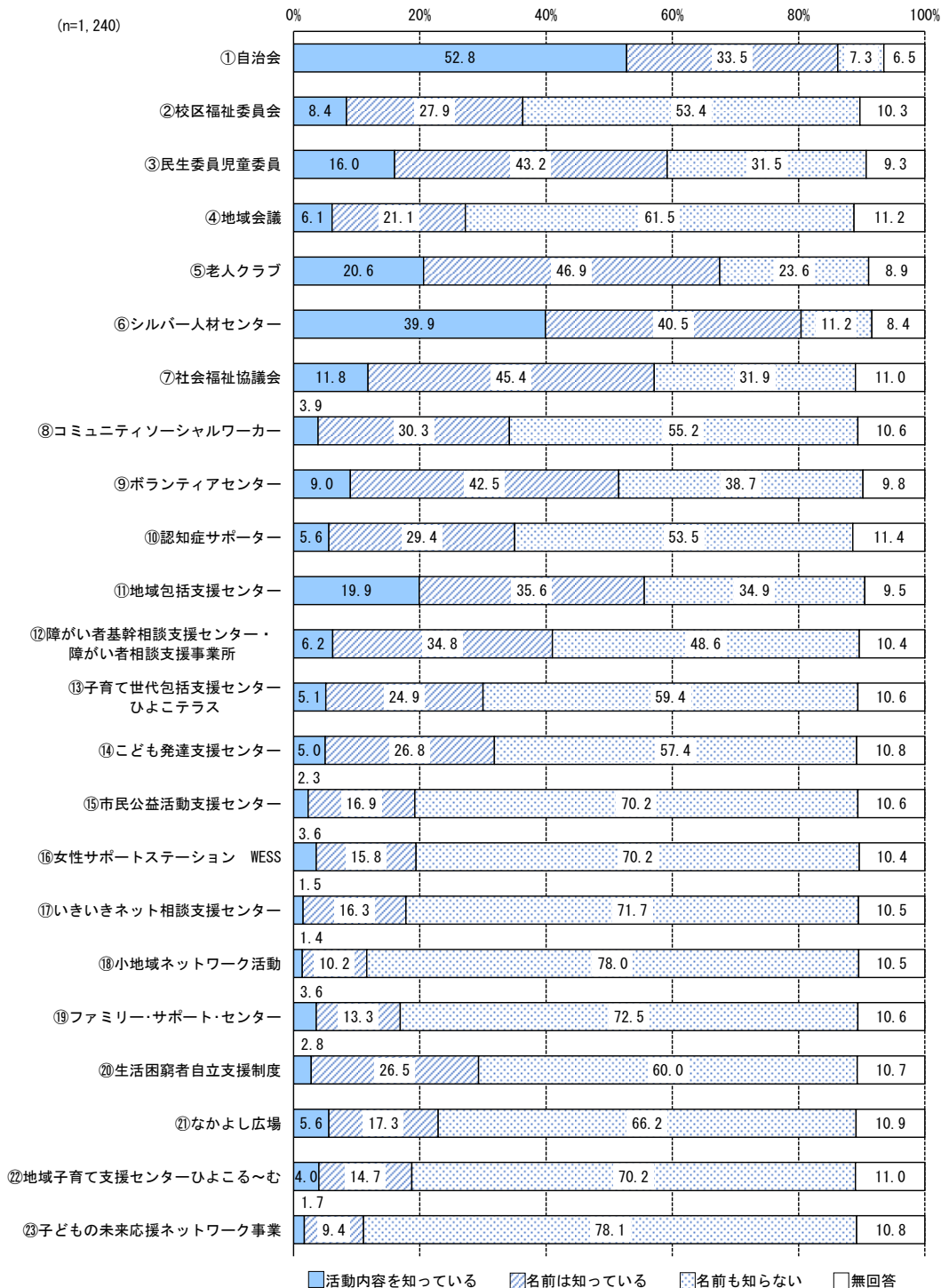
◆ 日常生活自立支援制度の認知度（問 25）



⑤ 地域福祉にかかわる活動について

地域福祉にかかわる活動について、活動内容の認知度が最も高いのは①自治会で約5割、次いで⑥シルバー人材センターが約4割、③民生委員児童委員、⑤老人クラブ、⑪地域包括支援センター、が約2割となっています。また、⑦社会福祉協議会、⑧コミュニティソーシャルワーカー、⑰いきいきネット相談支援センターの活動内容の認知度が1割以下と低くなっています。

◆ 活動内容の認知度（問 28）



家族状況別でみると、65歳以上の方、介護を必要とする方のいる家族では⑪地域包括支援センターの認知度は約3割、障がいのある方のいる家族での⑫障がい者基幹相談支援センター・障がい者相談支援事業所の認知度は約2割など、各種活動内容や施設の周知が必要であると考えられます。

単位：％

		母数 (n)	⑪地域包括支援センター			
			活動内容を 知っている	名前は知 っている	名前も知 らない	無 回答
家族 状 況	乳幼児	57	15.8	36.8	45.6	1.8
	小学生	75	12.0	45.3	40.0	2.7
	中学生	70	14.3	42.9	40.0	2.9
	高校生	89	10.1	43.8	41.6	4.5
	65歳以上の方	443	25.3	33.6	32.5	8.6
	介護を必要とする方	89	34.8	29.2	24.7	11.2
	障がいのある方	129	29.5	35.7	27.1	7.8
	いずれもない	402	17.4	36.8	37.8	8.0

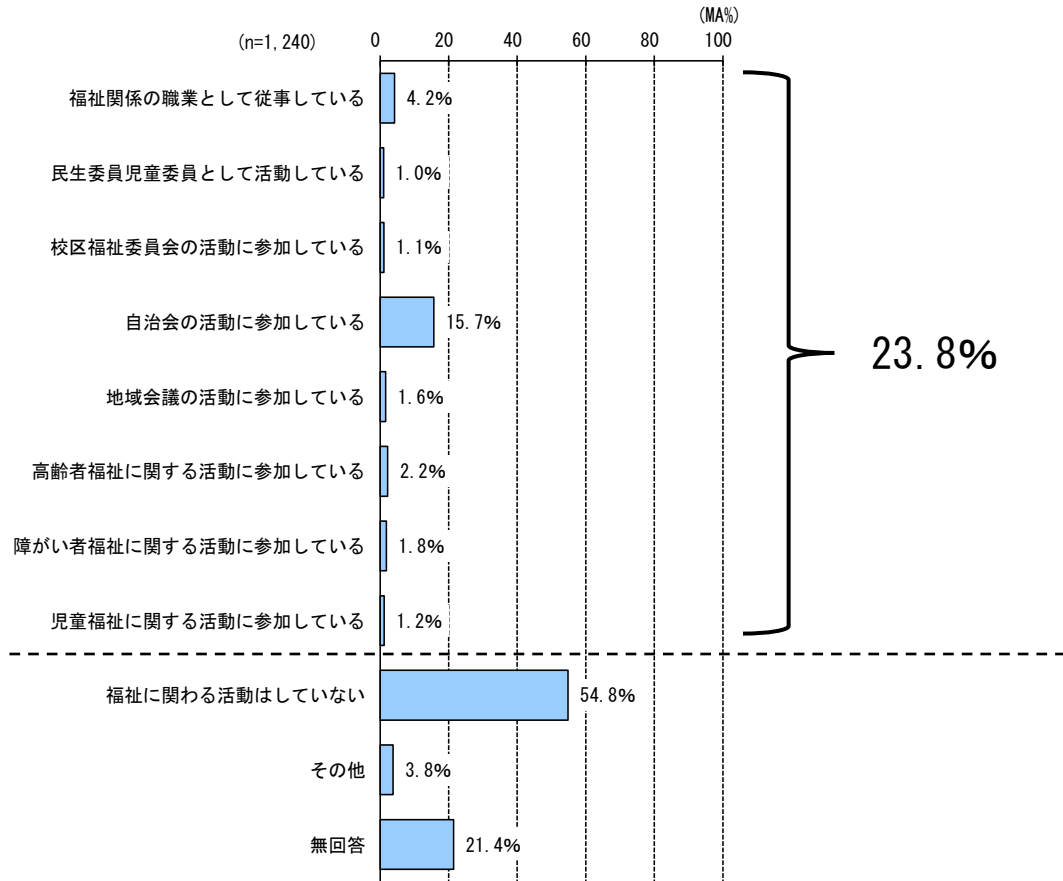
単位：％

		母数 (n)	⑫障がい者基幹相談支援センター・障がい者相談支援事業所			
			活動内容を 知っている	名前は知 っている	名前も知 らない	無 回答
家族 状 況	乳幼児	57	5.3	35.1	56.1	3.5
	小学生	75	9.3	37.3	49.3	4.0
	中学生	70	11.4	37.1	47.1	4.3
	高校生	89	7.9	37.1	49.4	5.6
	65歳以上の方	443	7.2	33.9	49.7	9.3
	介護を必要とする方	89	4.5	38.2	46.1	11.2
	障がいのある方	129	17.1	40.3	33.3	9.3
	いずれもない	402	4.7	34.8	51.7	8.7

⑥ 地域活動への参加について

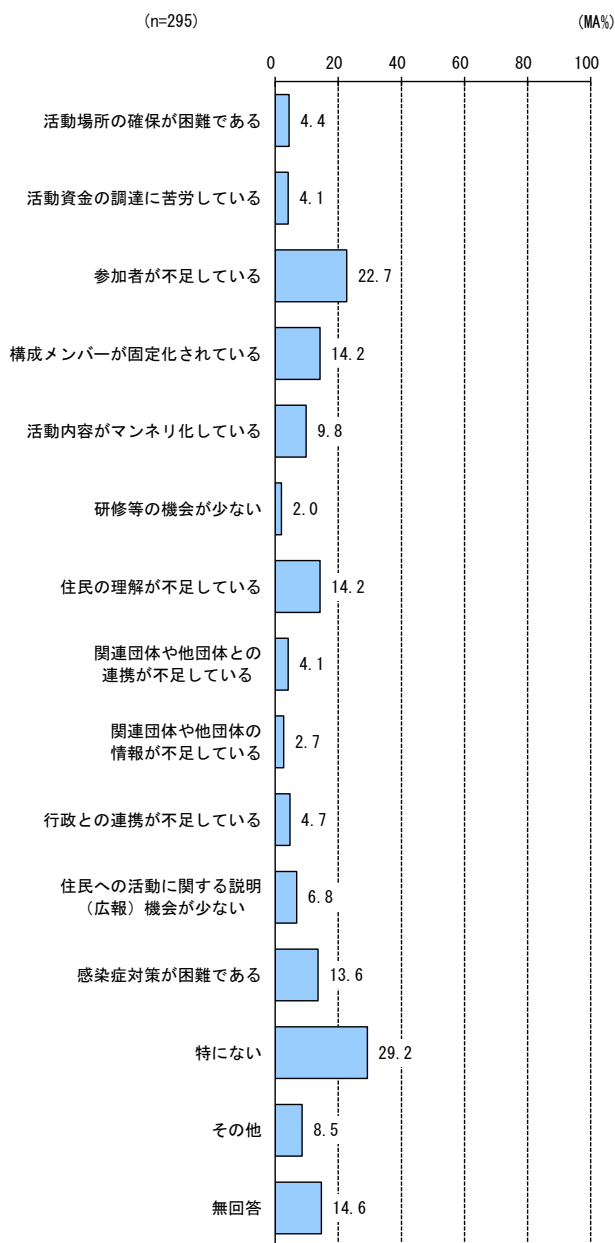
全体から「福祉に関わる活動はしていない」が54.8%と多くなっていますが、「その他」「無回答」を除いた、“何らかの活動で福祉とかかわっている方”は 23.8%となっており、その中で最も多いのは自治会で15.7%となっています。

◆ 福祉活動とのかかわり（活動の種類）（問 30）



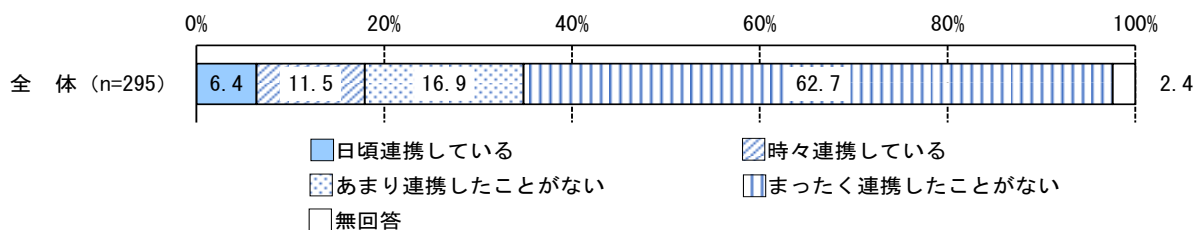
福祉とかかわっている方では、活動するうえでの問題点や困っていることは「特にない」と回答した方が 29.2%と多いですが、問題点や困っていることでは「参加者が不足している」が 22.7%となっています。また、関係機関や行政等との連携不足を課題としている人は 4.7%となっています。

◆ 現在、活動をするうえで、問題点や困っていること（問 32）



福祉とかかわっている方では、福祉の関係者及び関係機関とは「まったく連携したことがない」と回答した方が約6割となっています。活動の種類別にみると、民生委員児童委員は約6割が「日頃連携している」に対して、福祉関係の職業、自治会、高齢者福祉に関する活動、障がい者福祉に関する活動で活動している方では5割以上が「あまり連携したことがない」もしくは「まったく連携したことがない」と回答しています。

◆ 地域の人の困りごとなどを解決するために、福祉の関係者及び関係機関と連携したこと（問34）

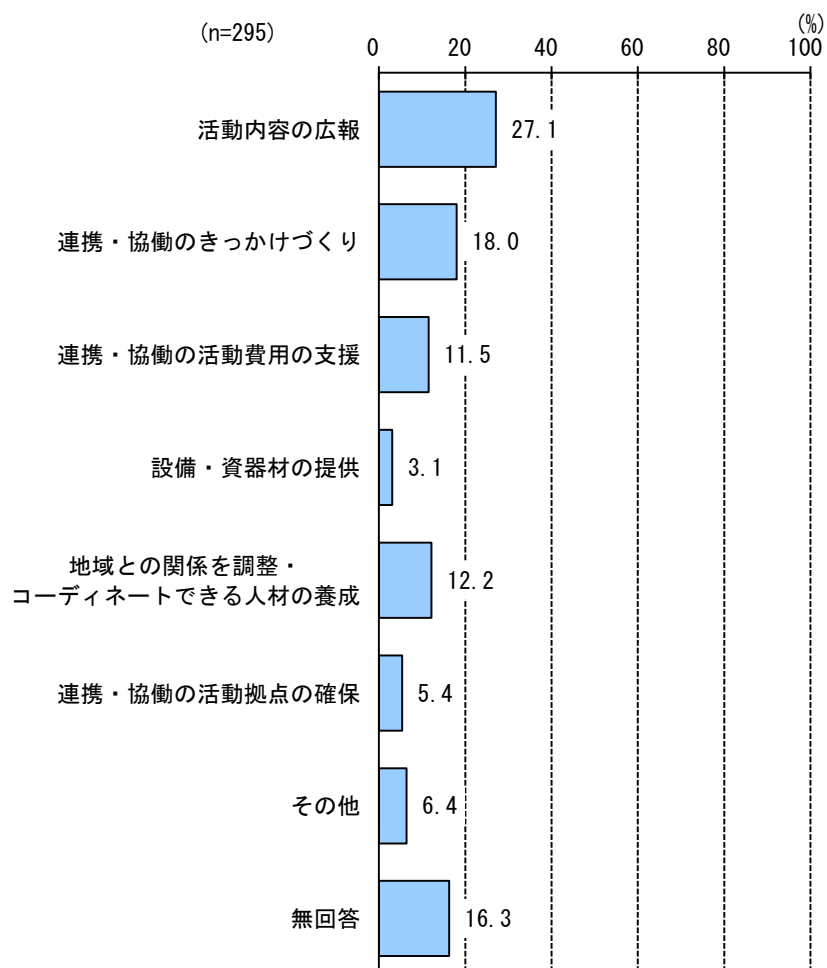


単位：%

活動の種類	福祉関係の職業 民生委員児童委員 校区福祉委員会 自治会 地域会議 高齢者福祉に関する活動 障がい者福祉に関する活動 児童福祉に関する活動 その他	母数 (n)	地域の人の困りごとなどを解決するために、福祉の関係者及び関係機関と連携したこと				
			日頃連携している	時々連携している	あまり連携したことがない	まったく連携したことがない	無回答
			6.4	11.5	16.9	62.7	2.4
	福祉関係の職業	52	15.4	26.9	11.5	46.2	-
	民生委員児童委員	13	61.5	30.8	-	7.7	-
	校区福祉委員会	14	35.7	50.0	-	14.3	-
	自治会	195	4.1	11.3	20.0	62.6	2.1
	地域会議	20	20.0	40.0	15.0	25.0	-
	高齢者福祉に関する活動	27	18.5	25.9	14.8	40.7	-
	障がい者福祉に関する活動	22	22.7	22.7	13.6	36.4	4.5
	児童福祉に関する活動	15	33.3	40.0	6.7	20.0	-
	その他	47	8.5	4.3	8.5	74.5	4.3

地域や関係機関と連携・協働するうえで、行政が担う役割について「活動内容の広報」が約3割、連携・協働のきっかけづくりが約2割となっています。

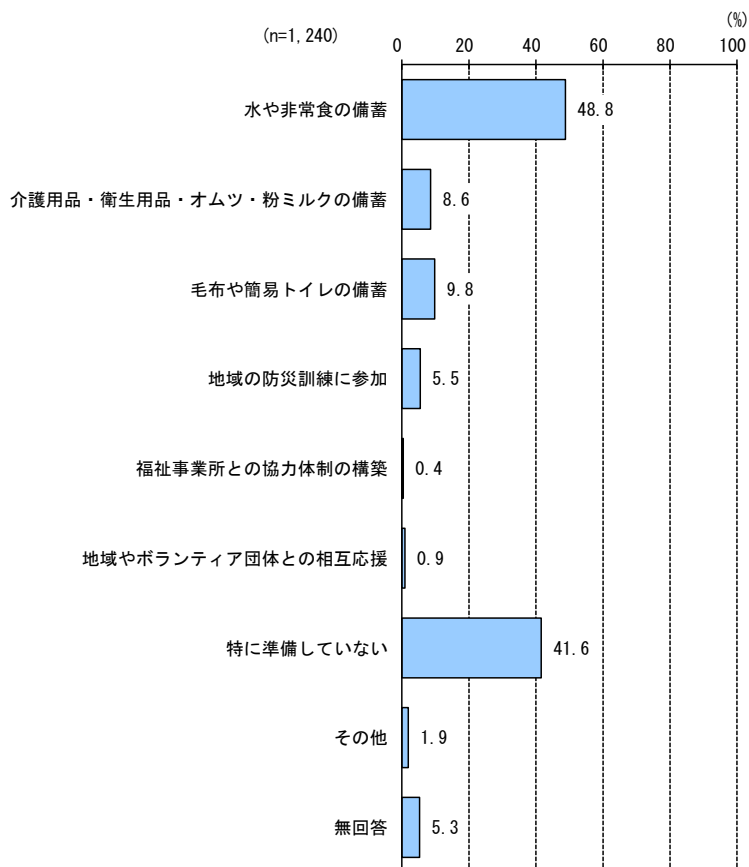
◆ 地域や関係機関と連携・協働する上で、行政が担う役割（問36）



⑦ 災害への備えについて

災害時への備えについて、48.8%が「水や非常食の備蓄」を行っている一方、「特に準備していない」と回答した方も 41.6%となっています。また、水や非常食以外の介護用品・衛生用品等や毛布や簡易トイレの備蓄、地域の防災訓練への参加をしていると回答した方は1割以下となっています。また、ひとり暮らしの人ではそうでない人に比べ、「特に準備をしていない」割合が多くなっています。

◆ 災害に備えて準備していること（問 37）

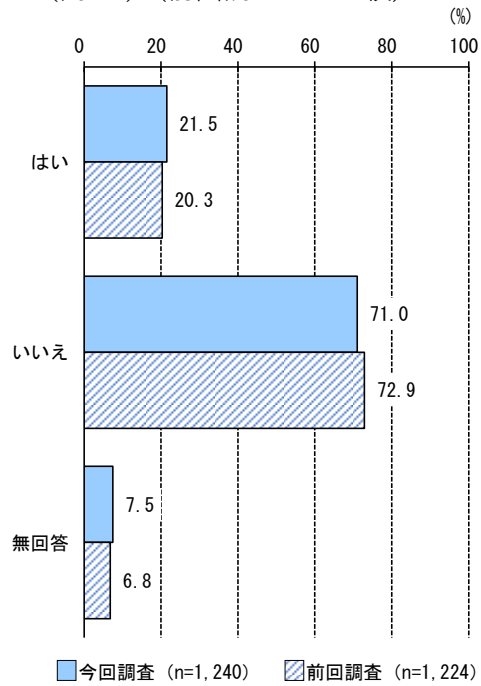


単位：%

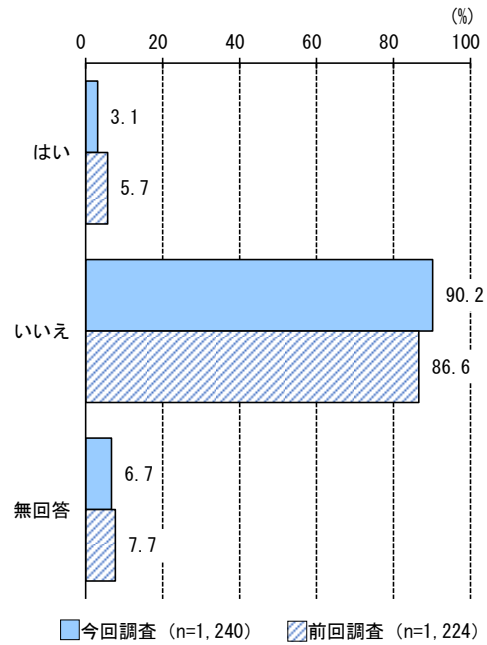
		母数 (n)	災害に備えて準備していること (MA)								
			水や非常食の備蓄	介護用品・オムツ・粉ミルクの備蓄	毛布や簡易トイレの備蓄	地域の防災訓練に参加	福祉事業所との協力体制の構築	相互応援	地域やボランティア団体との	特に準備していない	その他
家族構成	ひとり暮らし	232	36.2	3.4	6.9	3.4	0.4	2.2	54.7	1.3	6.5
	夫婦のみ	360	53.1	9.4	10.0	8.6	0.3	0.6	36.1	1.9	5.6
	親と子	520	51.3	9.8	10.6	4.4	0.2	0.4	39.4	1.9	4.2
	親と子と孫	53	50.9	11.3	11.3	5.7	-	-	47.2	1.9	-
	兄弟、姉妹	19	52.6	15.8	15.8	-	-	-	42.1	-	5.3
	その他	35	51.4	11.4	8.6	5.7	2.9	5.7	42.9	2.9	5.7

災害時に避難行動などに支援が必要な方が身近にいると回答した方は約2割となっていますが、門真市避難行動要支援者名簿の認知度は約3%にとどまっており、周知が必要と考えられます。

◆ ③家族など身近な人のなかに、災害時に避難行動などの支援が必要な方の有無
(問 39) (前回調査との比較)



◆ ②門真市避難行動要支援者名簿の認知度
(問 39) (前回調査との比較)

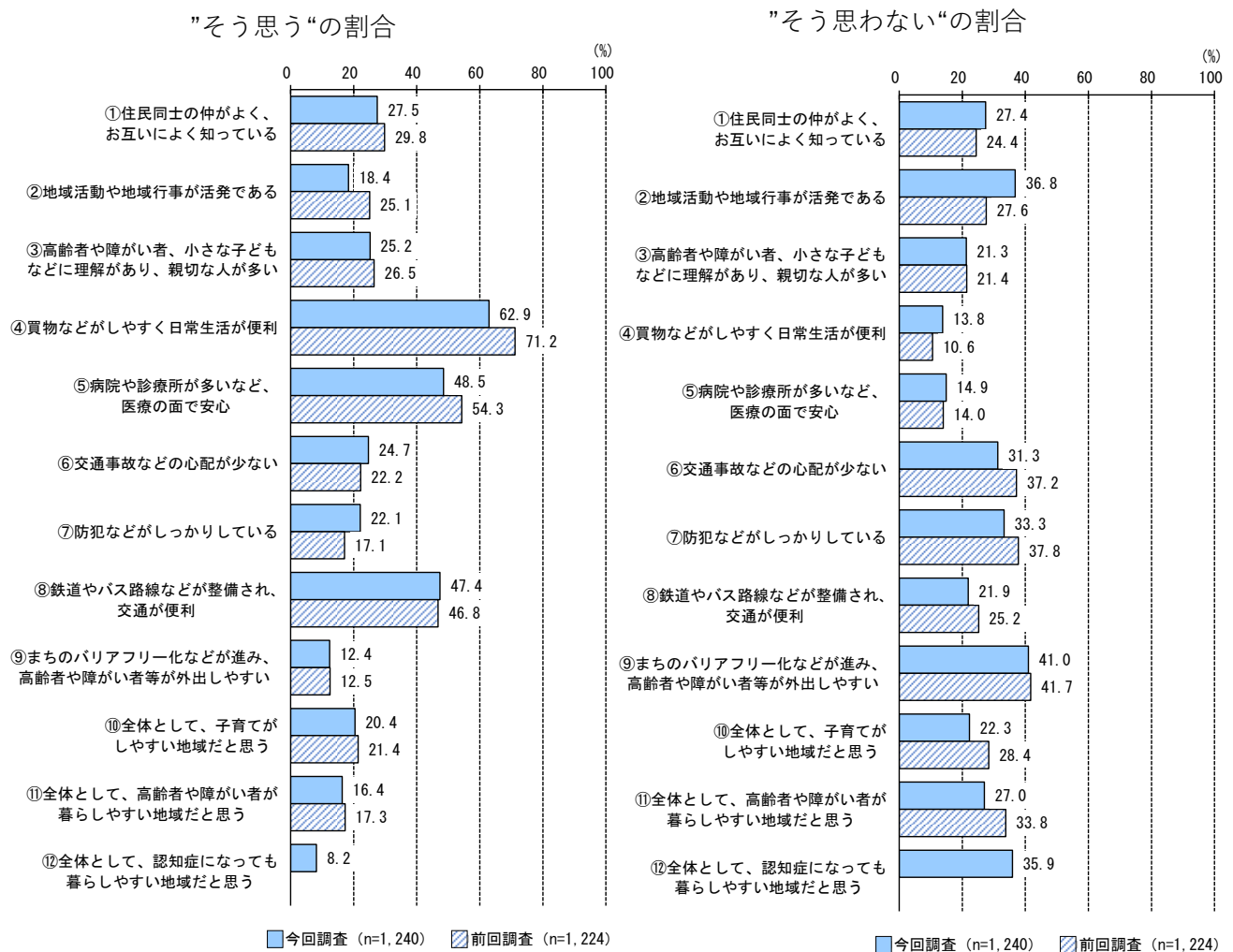


⑧ 地域福祉の推進について

現在住んでいる地域における暮らしやすさ等について、④「買物などがしやすく日常生活が便利」は“そう思う”が約6割で多くなっています。また、⑤「病院や診療所が多いなど、医療の面で安心」⑧「鉄道やバス路線などが整備され、交通が便利」で約5割と多くなっています。一方、“そう思わない”は②「地域活動や地域行事が活発である」⑨「まちのバリアフリー化などが進み、高齢者や障がい者等が外出しやすい」⑫「全体として、認知症になっても暮らしやすい地域だと思う」で約4割と多くなっています。高齢者や障がい者が暮らしやすいまちづくりや、地域活動の活性化が求められています。

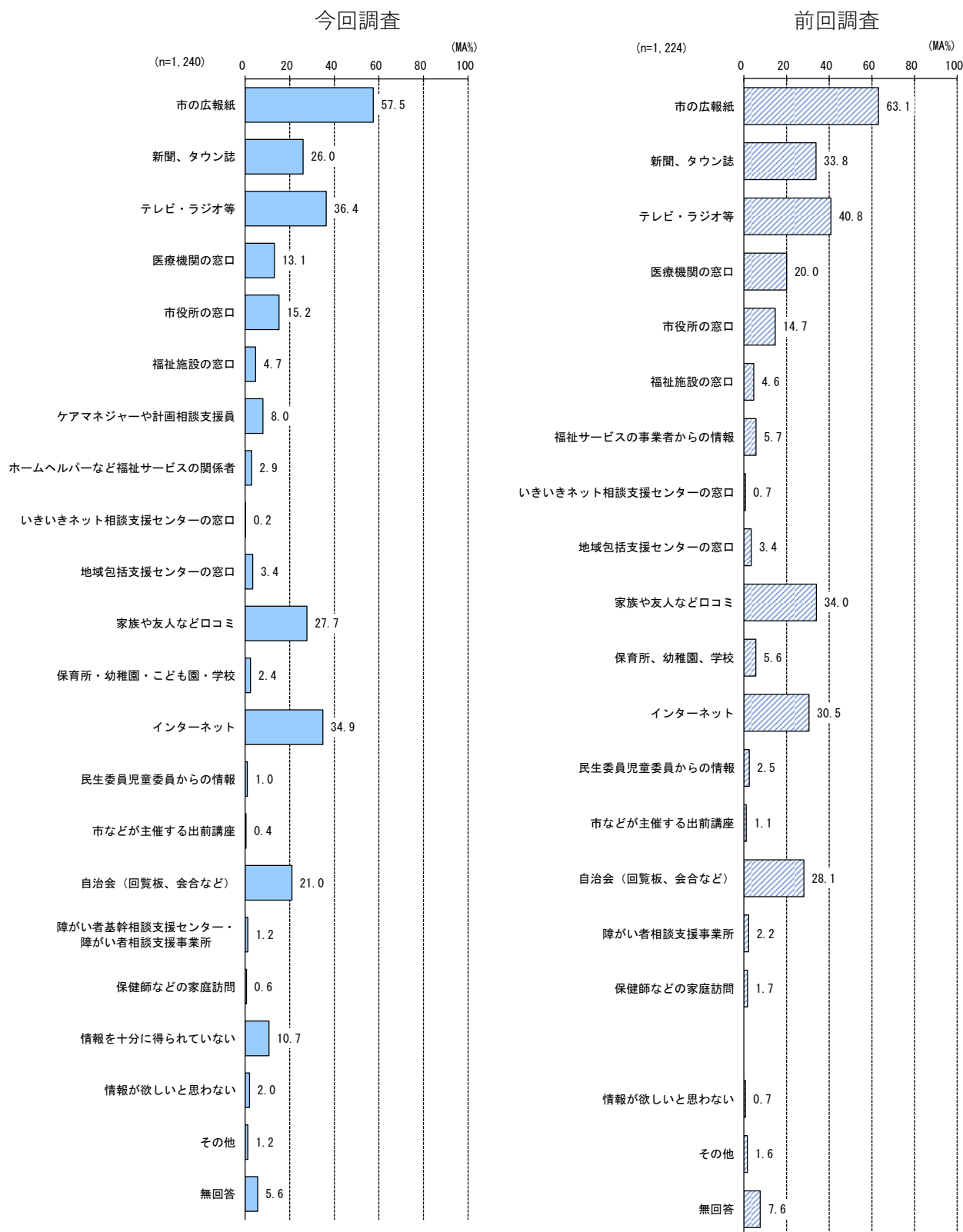
※設問の選択肢は「そう思う」「どちらかというと思う」「どちらともいえない」「どちらかというと思わない」「そう思わない」の5つでしたが、ここでは「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた“そう思う”「どちらかというと思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”のみを集計して掲載しています。

◆ 現在住んでいる地域における暮らしやすさ（前回調査との比較）（問40）



健康や福祉などに関する情報の入手手段では「市の広報紙」「テレビ・ラジオ等」「インターネット」が多くなっています。49歳以下ではインターネットが多く、50歳以上では「市の広報紙」「テレビ・ラジオ等」が多い傾向がみられます。対象者や情報の内容にあわせ情報発信の方法を工夫することで、効果的な普及につながると考えられます。

◆ 健康や福祉などに関する情報を得るときに役立っているもの（問41）（前回調査との比較）



単位：％

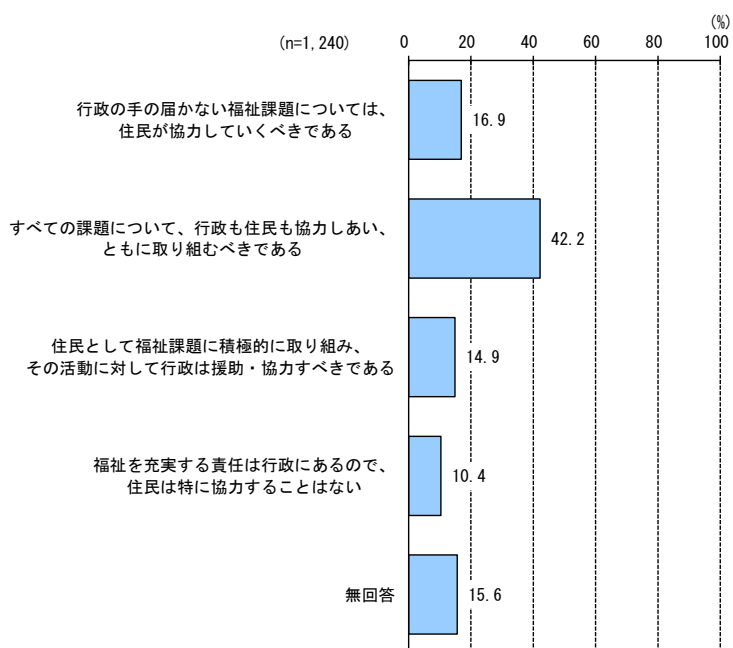
		母数 (n)	健康や福祉などに関する情報を得るときに役立っているもの(MA)										
			市の 広報紙	新聞、 タウン誌	テレビ・ ラジオ等	医療機 関の窓 口	市役所 の窓 口	福祉施 設の窓 口	ケアマ ネジャー や計画 相談支 援員	ホーム ヘルパー など福 祉サー ビスの 関係者	いきい きネット 相談支 援セン ターの 窓口	地域包 括支援 センタ ーの窓 口	家族や 友人な どロコ ミ
年齢	16～19歳	31	19.4	16.1	29.0	-	-	-	-	-	-	-	19.4
	20～29歳	67	41.8	22.4	22.4	6.0	4.5	1.5	1.5	1.5	-	4.5	20.9
	30～39歳	82	45.1	18.3	30.5	12.2	13.4	2.4	2.4	-	-	-	26.8
	40～49歳	168	59.5	19.0	26.2	11.3	14.3	3.6	1.8	1.2	-	1.2	23.8
	50～59歳	213	62.4	20.2	31.0	7.5	13.6	2.3	6.1	1.9	-	2.3	26.3
	60～64歳	80	66.3	23.8	46.3	12.5	25.0	7.5	8.8	3.8	-	1.3	30.0
	65～69歳	109	63.3	35.8	41.3	17.4	16.5	5.5	4.6	4.6	0.9	0.9	25.7
	70～74歳	172	65.1	31.4	40.1	16.3	16.9	7.6	8.7	1.7	-	6.4	33.7
	75～79歳	142	62.0	35.2	47.9	19.0	21.1	4.2	10.6	6.3	-	4.9	33.8
	80～84歳	105	48.6	24.8	43.8	18.1	12.4	4.8	18.1	5.7	-	6.7	26.7
85歳以上	56	53.6	35.7	41.1	14.3	14.3	8.9	30.4	3.6	1.8	7.1	28.6	

単位：％

		健康や福祉などに関する情報を得るときに役立っているもの(MA)										
		保育所・ 幼稚園・ こども園・ 学校	インタ ーネット	民生委 員児童 委員か らの情 報	市など が主催 する出 前講座	自治会 (回覧板 、会合 など)	障がい 者基幹 相談支 援事業 所	保健師 などの 家庭訪 問	情報を 十分に 得られ ていな い	情報が 欲しい と思わ ない	その他	無回 答
年齢	16～19歳	3.2	71.0	-	-	3.2	-	-	6.5	6.5	-	-
	20～29歳	7.5	46.3	-	-	7.5	3.0	-	6.0	9.0	3.0	1.5
	30～39歳	14.6	65.9	-	-	9.8	1.2	1.2	9.8	6.1	1.2	2.4
	40～49歳	6.5	60.7	1.2	-	13.1	1.8	0.6	12.5	1.8	1.2	1.8
	50～59歳	-	49.8	-	0.5	13.1	0.9	-	10.8	0.9	0.9	1.9
	60～64歳	1.3	48.8	1.3	-	12.5	1.3	1.3	10.0	-	3.8	5.0
	65～69歳	-	22.9	0.9	-	26.6	2.8	-	9.2	0.9	0.9	4.6
	70～74歳	-	22.7	2.3	0.6	36.6	-	0.6	11.6	2.3	1.2	4.7
	75～79歳	-	4.9	2.1	2.1	29.6	1.4	0.7	11.3	-	0.7	12.0
	80～84歳	-	-	-	-	30.5	-	-	9.5	1.0	1.0	16.2
85歳以上	-	7.1	1.8	-	35.7	-	3.6	16.1	1.8	-	8.9	

地域福祉を充実させるための行政と地域住民の関係について、「すべての課題について、行政も住民も協力し合い、ともに取り組むべきである」が約4割で最も多くなっています。また、地域福祉の充実のために協力できる時間について、「月に1～2日程度」が約4割で最も多くなっています。15.6%の人が「協力したくない」と回答していますが、「月に1～2日程度」から「週に2～3日程度」までの“協力してもよい”と回答した方は約55%となっています。

◆ 地域福祉を充実させるための
行政と地域住民の関係 (問 42)



◆ 地域福祉を充実させるために
協力できる時間 (問 43)

